



トレーラー通信



皆さん、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
雪の多い冬ですが、日々安全運転に務めてくださり、ありがとうございます。
今月号も皆さんと共有したい事項が盛りだくさんですので、
ご確認の上、いま一度安全の確保をよろしくお願い致します！

◆分割休息の取り方

- ・ 一定期間(原則2週間～4週間程度)における全勤務回数の2分の1の回数が限度
- ・ 休息を ①拘束時間の途中、②拘束時間の経過直後 に分割して与える
- ・ 1回の休息は4時間以上。計10時間以上の休息を与える

※ 分割休息は、必ず2回に分けなければいけないというわけではありません。
休息時間4時間を計3回行って、合計12時間以上の3分割休息も認められます。



休息の取り方

通常の休息

- ① 8H以上

分割休息3パターン

- ① 6H + 4H = 10H
- ② 5H + 5H = 10H
- ③ 4H + 4H + 4H = 12H

◆基本動作、忘れてませんか？

エアコックの接続の手順を間違えないで！

よく、サイドブレーキを引き忘れたまま車から降り、
先に赤色のエアコックを接続したと同時に
運転席に人が乗っていない状態のままで車が動き出して
物損事故を起こしたというハプニングがあります。

このハプニングですが、サイドブレーキを引き忘れていても
以下の画像をご覧になり、
エアコックの接続の手順を正しく行う事で確実に防ぐ事ができます。

まずはヘッドの踊り場から出ている2つの赤色と黄色のエアコックの説明を。



赤色のエアコックはエマージェンシーライン(通称:エマー)と呼ばれるエアが常時供給されるラインで、このエアコックのみを接続するとトレーラーの台車のブレーキが解放(フリー)されるようになっております。

つまり、シャーシープールで台車を切り離れた時や、通常運行ではまずありえないのですが、走行中にカプラーの不具合などでトレーラーの台車が分離されるとエアホースや電源ケーブルが切断されるのですが、赤色のエアコックのホースが切れるとトレーラーの台車が動かないように非常ブレーキがかかるようになっている訳です。

黄色のエアコックは

サービスライン(通称:サービス)と呼ばれる

フットブレーキやサイドブレーキ、トレーラーの台車ブレーキのいずれかのブレーキを作動させた時のみエアが供給されるラインです。

つまりサイドブレーキを引き忘れた場合、黄色のエアコックからはエアが全く供給されません。

ここが一番のポイントです。

では、早速やってみましょう！



まずはトレーラーの台車を連結し、
必ず黄色のエアコックから接続します。
この時にエアが供給されているかどうか必ず確認してください。
エアが供給されていればヘッドのサイドブレーキが作動しており、
エアが全く供給されずスカスカの状態になっていたら
サイドブレーキを引き忘れていたので
運転席に戻ってサイドブレーキを引きます。

要するに最初の黄色のエアコックの接続は
サイドブレーキの引き忘れがないかどうかの安全確認を兼ねている、という事です。
サイドブレーキを引き忘れた状態で先に赤色のエアコックを接続すると
トレーラーの台車のブレーキが解放され、
傾斜のある場所ですと勝手に車が走り出し
重大事故に結びつく可能性がありますので絶対にしないようにしましょう。



黄色のエアコックを接続したら次に赤色のエアコックを接続します。



最後に電源ソケットを接続して



台車の脚を上げて無事に作業完了🚩
脚を上げる作業はエアコック接続前でも構いません。



エアコック・電源ケーブルを外す時は
接続時の逆になります。
(1 電源ケーブル外し→2 赤色エアコック外し→3 黄色のエアコック外し)



カップラーの解放作業は
全てのエアホース類を外し、脚が降りているのを確認してから
一番最後に解放します。

絶対に先に解放してはいけません。

堅くて中々解放できない場合は
ヘッドのエアサスを一番下まで下げると解放しやすくなります。

いま一度、皆さん基本動作改め直してください。

よろしくお願い致します。

◆ストップ!! ザ・車輪脱落事故

車輪脱落を防ぐ、4つのポイント

確実な締付け

締付け方式には、球面座で締付けるJIS方式と平面座で締付けるISO方式があります。規定の締付けトルクで確実に締付けます。



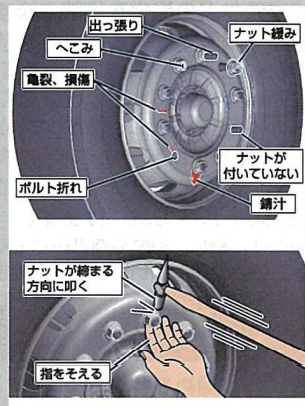
増し締めの実施

締付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下します。50～100 km走行後を目安に増し締めを行います。



日常の点検

一日一回、運行の前に、ホイールボルト、ナットを目で見て、さわって点検します。異常を発見したら直ぐに整備工場へ。



ホイールの履き替え

スチールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合するホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ず確認してください。



詳しい情報は… 日本自動車工業会 HP
日本自動車車体工業会 HP
日本自動車タイヤ協会 HP

<http://www.jama.or.jp/user/>
<http://jabia.or.jp/use/trailer/index.php>
<http://www.jatma.or.jp/tekisei/>

※左側の方がゆるみやすい傾向にあります。特に左後ろのダブルタイヤです。



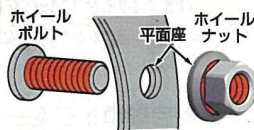
締付け方式

ホイールの締付け方式には、球面座で締付けるJIS方式と、平面座で締付けるISO方式があります。大型トラック・バスでは「排出ガス規制ポスト新長期規制適合」車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

アルミホイール/スチールホイールの履き替えには、それぞれ適合するボルト、ナットの使用が必要です。

〔後輪ダブルタイヤの締付け構造〕

ISO方式(8穴、10穴)



JIS方式(6穴、8穴)

